

重度肘関節拘縮に対する鏡視下授動術の術中所見に関する

後ろ向き研究のオプトアウトのお知らせ

このたび、芦屋中央病院 スポーツ診療部では、倫理委員会の承認を得た上で、診療録等の既存情報を用いた後ろ向き研究を実施いたします。

本研究は、研究実施による患者さまへの新たな負担や不利益は一切ありません。また、患者さまのプライバシー保護については、法令および倫理指針を遵守し、十分に配慮いたします。

1. 研究の目的および意義

本研究の目的は、重度肘関節拘縮に対する鏡視下授動術において、術中の可動域変化および拘縮解除に関する後方構造を明らかにし、治療成績向上に資する知見を得ることです。

2. 研究の方法

本研究は、後ろ向き単施設研究として実施します。2023年から2025年までに、重度肘関節拘縮に対して鏡視下授動術を施行した症例を対象とし、診療録および術中所見を用いて解析を行います。

3. 研究対象者

2023年から2025年までに、重度肘関節拘縮に対して鏡視下授動術を施行した患者(5例5肘)。

4. 研究に使用する情報

診療経過、術中所見、可動域データ

※研究責任者が他院で執刀した症例を含みますが、研究に使用する情報は匿名化された診療情報および術中所見に限定します。

5. 個人情報の保護

使用する情報は匿名化した上で厳重に管理し、研究目的以外には使用いたしません。

6. 研究成果の公表

研究成果は、個人が特定されない形で、学会発表および学術論文として公表する予定です。

7. オプトアウト(研究への参加拒否)について

本研究では、オプトアウト方式を採用しています。

ご自身の情報が本研究に使用されることを希望されない場合は、

下記の研究担当者までご連絡ください。

該当する情報は研究対象から除外いたします。

なお、研究への参加を拒否されても、診療上の不利益が生じることはありません。

8. 研究期間

倫理委員会承認日(令和7年12月24日)～研究終了日(予定)

9. 研究担当者・問い合わせ先

芦屋中央病院 スポーツ診療部

部長 迫田 真輔

連絡先(電話番号)093-222-2931(平日:9時～17時)

10. 倫理審査

本研究は、地方独立行政法人 芦屋中央病院 倫理委員会の承認を受けて実施しています。

(承認日:令和7年12月24日)

令和7年12月24日

芦屋中央病院 スポーツ診療部